

令和6年度 第55回長野市障害者スポーツ大会 留意事項

1 受付について

(1) 陸上競技参加者の受付は陸上競技場において行う。

(福)長野市身体障害者福祉協会支部(以下「身障協支部」という。)、障害者支援施設(以下「施設」という。)及び特別支援学校(以下「学校」という。)等に所属する者は引率責任者が一括して行き、それ以外の者は個人で行う。

(2) 水泳競技参加者の受付は総合市民プール(アクアウィング)において個人で行う。

(3) 受付は必ず時間内に済ませること。

※ 受付時間 … 陸上競技 8:30 ~ 9:00、水泳競技 9:00 ~ 9:25

2 陸上競技場の選手及び応援者の座席について

(1) メインスタンド1階のダッグアウトへ、参加団体ごとにプラカードを設置するので、選手を優先して着席する。

(2) メインスタンド2階及びバックスタンド(芝生席)については、特に定めないので、それぞれ適宜融通し合って使用する。

(3) (1)、(2)いずれの場合もソーシャルディスタンスを確保し、いわゆる三密(密閉、密集、密接)状態を回避する。

3 選手の招集について

(1) 招集場所は次のとおりとする。

競技種目	招集所
陸上競技の徒競走	100mスタート地点横
陸上競技の跳躍及び投てき	各種目の競技場所
フライングディスク	フィールド内(フライングディスク競技場所)
水泳競技	プール内本部所定の位置

(2) 各競技の招集完了時刻までに招集所にて係員の点呼を受けるとともに、競技開始までの間は係員の指示に従う。棄権する選手がいる場合は、係員に申し出ること。

(3) 招集完了時刻等に遅れた選手は、やむを得ない場合を除き棄権したものとみなす。

4 競技方法について

(1) 徒競走及び水泳競技は全てタイムレースとする。

(2) 跳躍競技は走り高跳びを除き、試技は3回とする。

(3) 投てき競技の試技は3回とする。(車いす使用者については、3回連続で投げるものとする。)

(4) フライングディスク(アキュラシー)競技は、10回連続して試技を行い、得点はディスクが地面に触れず直接5m先のアキュラシーゴールを通過した回数とする。

(5) ナンバーカード(ゼッケン)は、受付時に交付し、競技用服装の胸部及び背部に付ける。大会終了後、受付場所に設置する箱へ返却する。なお、身障協支部、施設及び学校の引率者は責任を持って一括受領・返却する(水泳競技は除く。)

5 表彰等について

- (1) 出場選手に記録証及び賞品を贈呈する。
- (2) 参加者全員に参加賞を贈呈する。

6 競技用服装等について

- (1) 運動可能な服装とする。
- (2) 陸上競技のスパイクシューズの使用は自由とするが、全天候型のものを使用する。
- (3) 視覚障害者区分のうち、「矯正後の良い方の視力」が視力0から0.01までの選手は光を通さないアイマスク、アイシェードまたはゴーグルを装着する。なお、使用するアイマスク等は原則選手自身で用意する。

7 携行品について

帽子、水筒、雨具、マスク及び常用薬等については、各自で用意する。

8 荒天時の対応

荒天により開催が危ぶまれる場合は、午前7時以降に下記へ電話して確認することができる。なお、ホームページ (<https://www.npsports.jp>) にも掲載する。

大会事務局（長野市障害者スポーツ協会）電話：266-8834

※ ホームページへの掲載がなく連絡がとれない場合は、概ね大会が開催されるものである。

※ 開催中止の場合、水泳競技も中止とする。

9 健康・安全管理

- (1) 健康状態を十分把握し、自己の責任において競技に参加すること。

10 その他の留意事項

- (1) 会場内の駐車スペースが少ないため、乗り合わせ等により来場する。
- (2) 発生したごみ等はすべて持ち帰ること。また後片付けは参加者全員の責任において行うこととし、引率責任者は確認をすること。
- (3) 参加申込期限後の申込みや出場種目、選手等の変更は一切認めない。
- (4) 会場内での飲酒は厳禁
- (5) 会場内の建物の中はすべて禁煙のため、必ず指定された場所で喫煙すること。
- (6) 水泳競技においては、更衣室で密集状態にならないよう注意する。
- (7) マスクの着用は自己判断とする。
- (8) 競技種目日程表等のスケジュールは、障害者スポーツ協会のホームページに掲載する（5月上旬）予定なので、参加選手や関係団体の皆様はご確認願います。